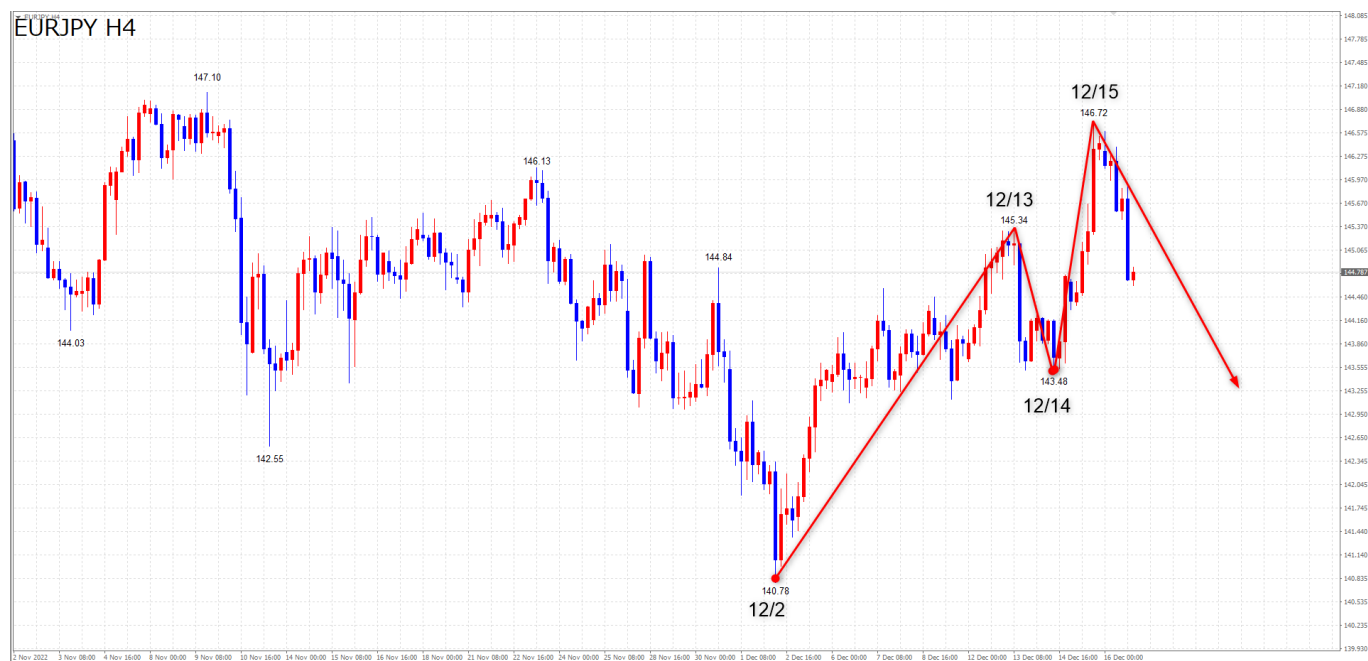


【クロス円の相場のシナリオ】

相場の傾向として、ドル円、クロス円は同じような日柄にボトムや天井を付ける傾向にあり、同じようなサイクルを形成する傾向があります。

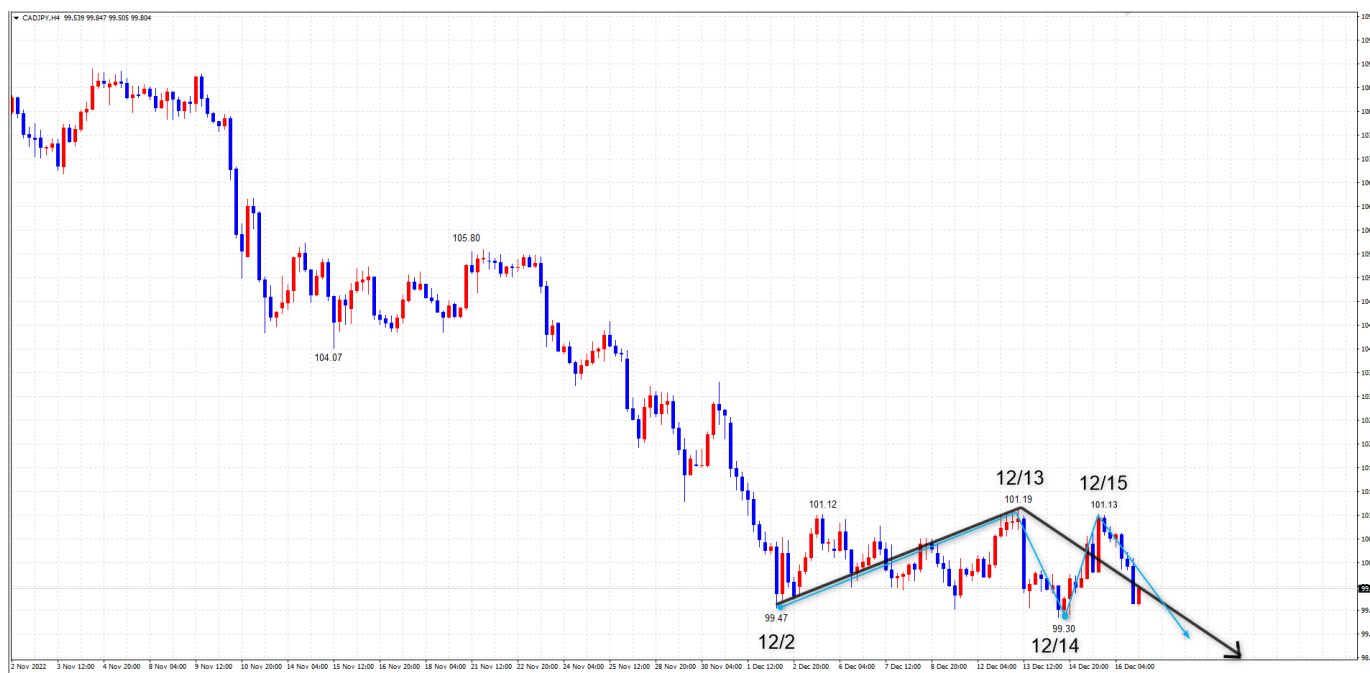
現在の相場で言えば、加ドル円が既にメジャーサイクルでレフトトランスレーションを形成していることから、他の銘柄でもレフトトランスレーションになる可能性が高いと見ています。

先週の相場は、12/14 にクロス円の4時間サイクルで、ユーロ円、スイス円が強く上昇して直近高値も更新しました。



ユーロ円 4時間足チャート

4時間サイクル的には50本前後になるので、短縮ならあり得る本数です。

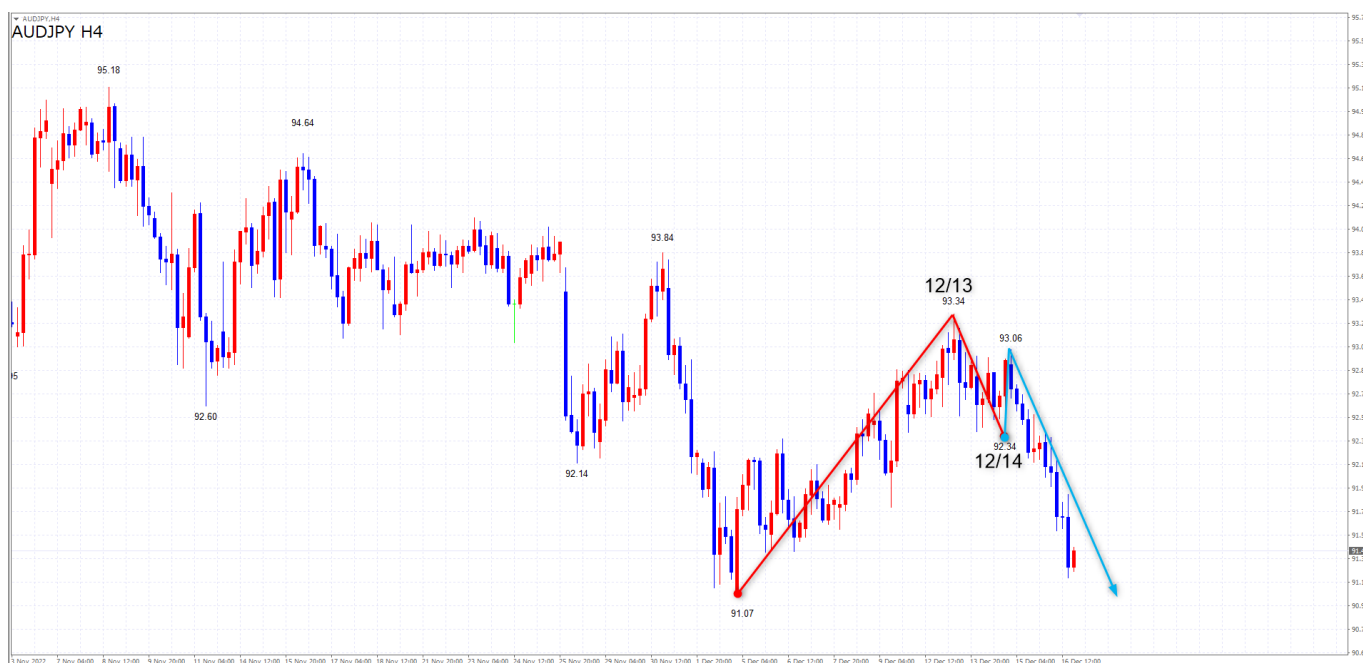


加ドル円 4時間足チャート

それに対して、加ドル円は直近安値を更新して、メジャーサイクルで想定していた起点割れを起こしたので、レフトトランスレーションが確定しました。

なので、クロス円の前回の4時間サイクルは短縮で、今回の4時間サイクルは12/14の安値が起点となってスタートしているシナリオで見えています。

クロス円は同じような日柄にボトムを付けやすいということで、豪ドル円とポンド円も12/14の安値が起点となっているのであれば、4時間サイクルで既にレフトトランスレーションが確定しています。



豪ドル円 4時間足チャート

一つ気になるのは、そのシナリオだと、
豪ドル円は2本目で天井を付けていることになります。

レフトランスレーションでも2本目で天井を付けることは傾向的には少ないです。

10本台、20本台で天井を付けるのが綺麗ではあります。

2本目で天井を付けているシナリオではないとすると、
91.07から4時間サイクルが継続しているシナリオで、現在は60本目なのでボトムの
時間帯です。

似たような形でポンド円もサイクルが継続していた場合は、
ボトムの時間帯になるので、ボトムを付ければ上昇することは出来るので、
他のクロス円に関しても一旦上昇する可能性があります。

ですが、加ドル円はメジャーサイクルでもレフトトランスレーションが確定しているの
で、
他のクロス円に関しても、メジャーサイクルはレフトトランスレーションを想定していま
す。

加ドル円が 101.19 を超える場合は、メジャーサイクルの天井を超えることになります。

豪ドル円が 2 本目の天井で想定している 93.06 を超える場合は、4 時間サイクルがレフト
トランスレーション確定のシナリオが崩れます。

上記の事があれば、シナリオが崩れることになるので、この事に注意して見ていきます。